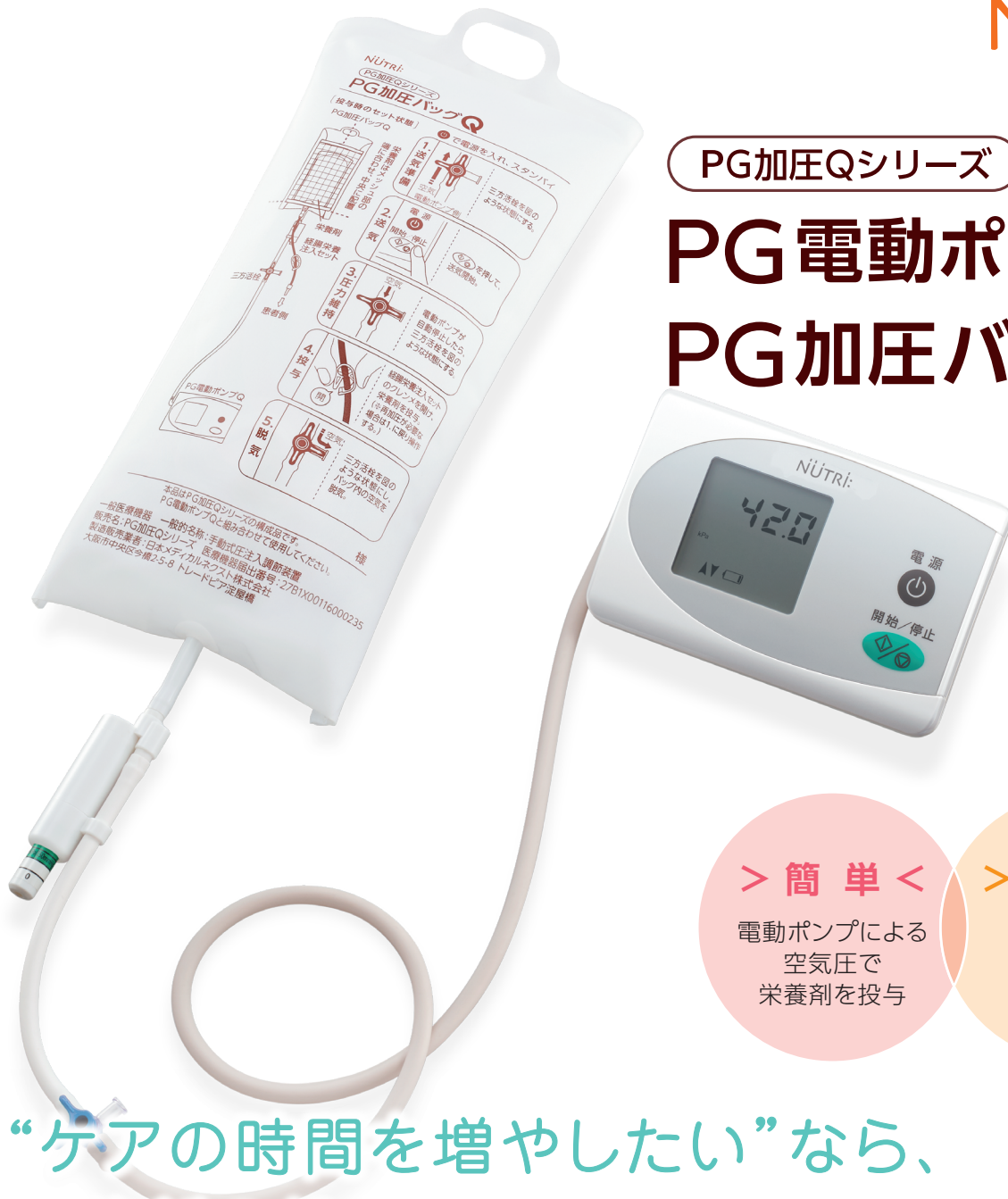


PG加圧Qシリーズ

PG 電動ポンプQ

PG 加圧バッグQ



> 簡単 <

電動ポンプによる
空気圧で
栄養剤を投与

> 便利 <

胃瘻・経鼻
どちらでも
OK

“ケアの時間を増やしたい”なら、
栄養剤の投与を電動ポンプに。

仕様

一般的名称：手動式圧注入調節装置
販売名：PG加圧Qシリーズ
医療機器届出番号：27B1X00116000235
医療機器クラス分類：クラスI(一般医療機器)

	商品コード	包装単位	JANコード
PG電動ポンプQ	A60302	1台	4934989 611390
PG加圧バッグQ	A60303	1セット	4934989 083975

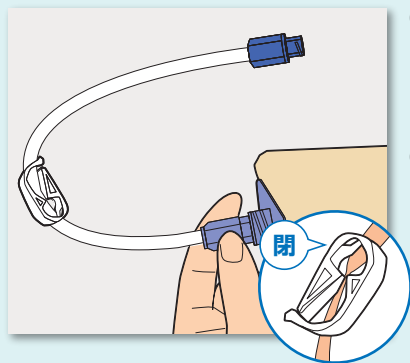
〈使用上の注意〉

- ご使用の際は、電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。
- PG加圧バッグQの加圧時、外部から圧力をかけないでください。
[PG加圧バッグQが破裂し怪我の原因となります。又、PG電動ポンプQが破損する原因となります。]
- 水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管してください。



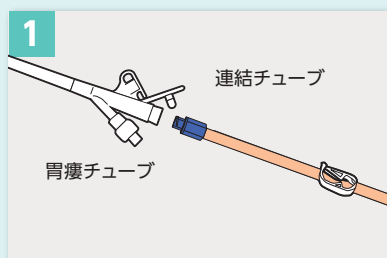
PG加圧Qシリーズの操作手順

準備する

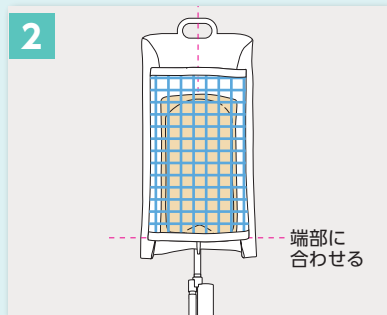


- ① 栄養剤と連結チューブを接続する。
- ② 連結チューブ内を栄養剤で満たした後、クレンメを閉じる。

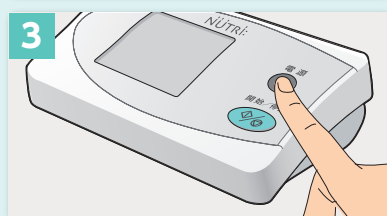
投与を開始する



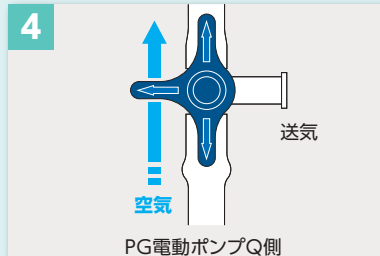
連結チューブの先端を胃瘻チューブに接続する。



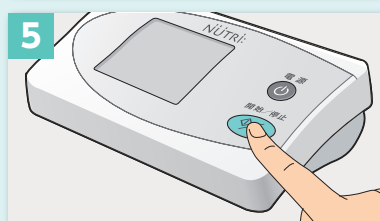
連結チューブを付けた栄養剤を挿入スペースに入れる。



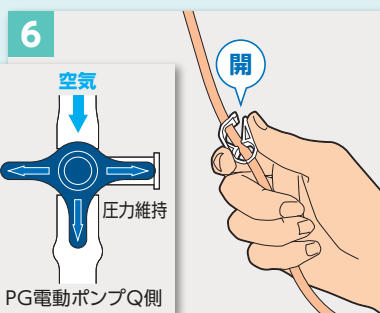
PG電動ポンプQの電源を入れる。



三方活栓を送気側に回す。



開始/停止ボタンを押し、加圧を開始する。圧力が42kPaに達すると自動的に送気は停止します。



三方活栓を圧力維持側に回し、PG電動ポンプQの電源を切る。連結チューブのクレンメを開けて投与を開始する。

投与を終了する



三方活栓を脱気側に回し、PG加圧バッグQの空気を抜く。栄養剤を取りだし、残りを絞って注入する。

PG加圧Qシリーズの使用方法の動画はこちら▶▶▶



関連製品

EJ連結チューブII

(チューブ長30cm・60cm)
 一般的名称: 経腸栄養注入セット
 販売名: EJ連結チューブII
 医療機器届出番号: 34B1X00001000118



PG加圧バッグII

一般的名称: 手動式圧注入調節装置
 販売名: PG加圧バッグII
 医療機器届出番号: 24B3X10008000003



NÜTRI: ニュートリー株式会社

本社 / 〒510-0013 三重県四日市市富士町1-122

お問い合わせ先 TEL.0120-219-038 <https://www.nutri.co.jp>

